

インターネットバンキングによる 不正送金の被害が増加

インターネットバンキングに係る不正送金事案が全国的に急増しています。
昨年9月から被害件数、被害額ともに急増しており、10月以降も被害が多発しています。

不正送金事犯発生状況(令和元年11月末現在)



11月中の被害額は、

7億7,600万円！！



※出典元:警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト

流行の手口

金融機関を装ったフィッシングメール

【●●銀行】お客様の銀行口座は、セキュリティ強化手続きが未完成のため、再開手続きをもう一度お申込ください。

<https://●●●.com>

金融機関を装ったショートメッセージ(SMS)を送りつけ、正規の金融機関のサイトを模範した偽サイトに誘い混み、個人情報、口座番号などを入力させ、情報を盗み取る。

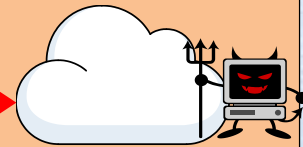
メモアプリの情報が窃取

クラウド上に保存しているメモアプリの情報(ID・パスワードなど)が盗まれてしまう。



メモアプリに
情報を入力

クラウド上に
情報を保存



メモアプリへの不正アクセスにより、保存していた情報が盗まれる

不正送金の被害に遭わないために

- 金融機関のサイトへのアクセスは、正規のサイトから
- 怪しいメールに添付されたファイル、リンクは開かない
- メモアプリにID・パスワードを保存しない
- ID・パスワードは使い回しをしない

